



TREND-CORE

BIM/CIMコミュニケーションシステム【トレンドコア】

**i-ConstructionとBIM/CIMの
普段使いをサポートする
BIM/CIMコミュニケーションシステム!**

NETIS登録技術

3次元モデルを利用したCIMコミュニケーションシステム
TREND-CORE
【登録番号】KK-160043-VE

TREND-CORE

BIM/CIMコミュニケーションシステム【トレンドコア】

i-ConstructionとBIM/CIMの 普段使いをサポートする BIM/CIMコミュニケーションシステム!

TREND-CORE(トレンドコア)は、CIMモデルを構築し、建設・土木施工業務の高度化を支援するアプリケーションです。4D施工ステップによる施工手順の"見える化"やi-Constructionで利用する3次元設計データの作成が行えます。点群とモデルの重ね合わせによる設計の妥当性検証や、豊富な3D部品を使用した施工計画検討が特徴です。また、福井コンピュータソリューションとの連携によりBIM/CIMの工事活用項目(リクワイヤメント)にも対応します。発注者や地元住民への合意形成を手助けするビューア出力にも対応しています。



TREND-COREで“できること”



3Dモデル活用

P03 P04



施工計画の効率化・高度化

P04



現場シミュレーション

P05



ICT施工

P06



属性管理/情報共有

P06



BIM/CIM業務の成果作成

P07



データ連携

P07



バーチャルリアリティ

P09 P10



TREND-CORE CIMビューア Free版

【TREND-CORE】で作成した3Dモデルと関連情報が専用ビューアで閲覧できます。発注者や工事関係者など、誰でも閲覧できるので、より多くの場面でご利用いただけます。

ダウンロードは
こちらから



3次元測量/点群処理/設計データ作成/出来形管理/ICT検査
i-Construction
SPECIAL SITE

<https://icon.fukuicompu.co.jp>

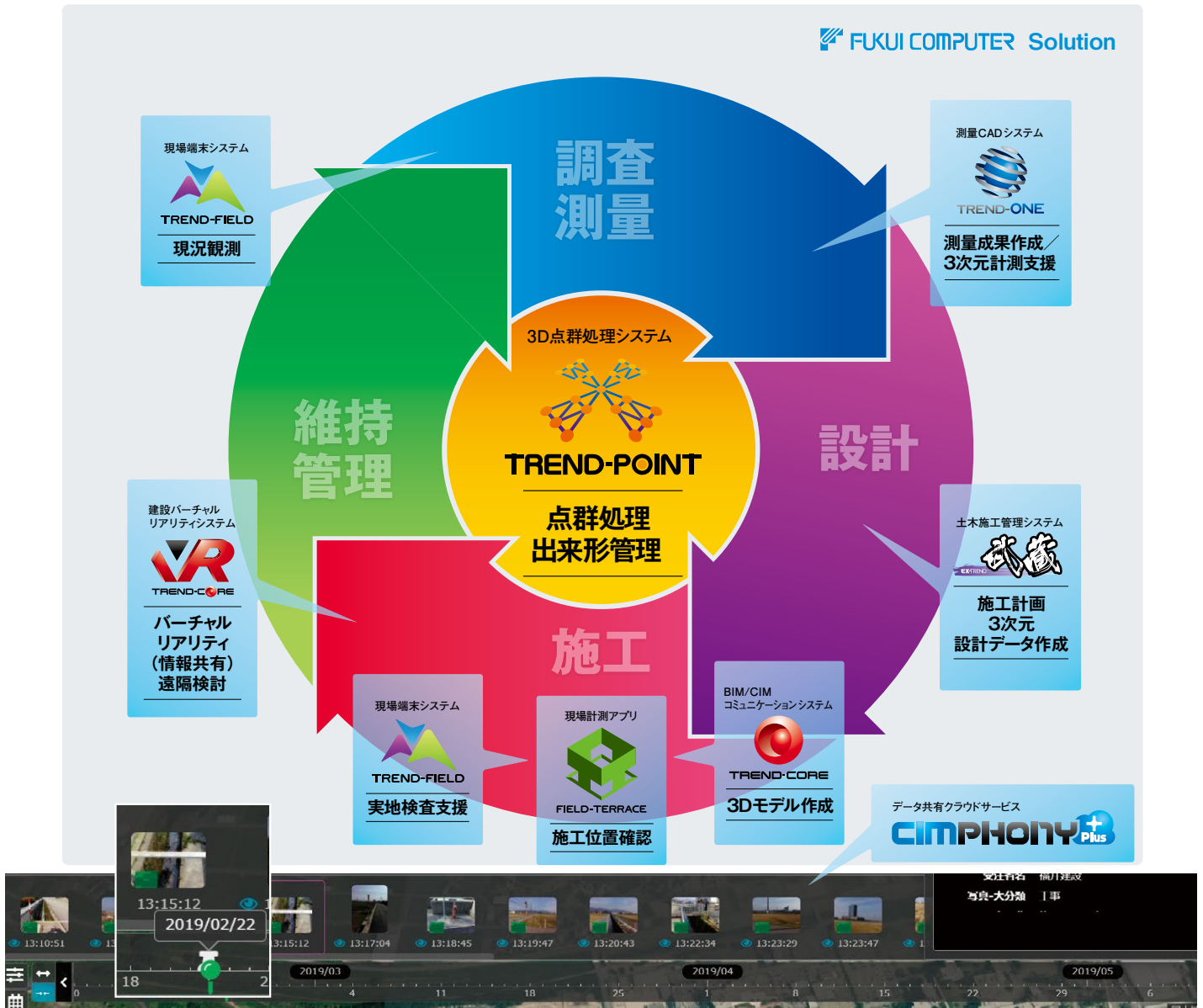
3次元 / ICT技術の普段使いを支援する 福井コンピュータソリューション

業務の一つひとつを3次元 / ICT化し活用することで

現場の省力化・効率化を促進させ、生産性を飛躍的に向上させます。

福井コンピュータソリューションで、建設生産プロセスにおける業務全般を支援していきます。

建設生産プロセスにおけるTREND-COREの活用



TREND-COREの導入活用事例

全国のユーザー様の導入事例が満載!

CONST-MAG

導入事例サイト「CONST-MAG(コンスト・マグ)」



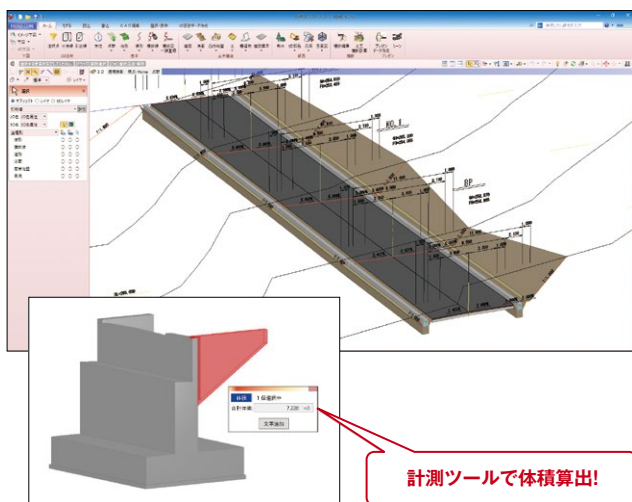
<https://const.fukuicompu.co.jp/constmag/>



3Dモデル活用

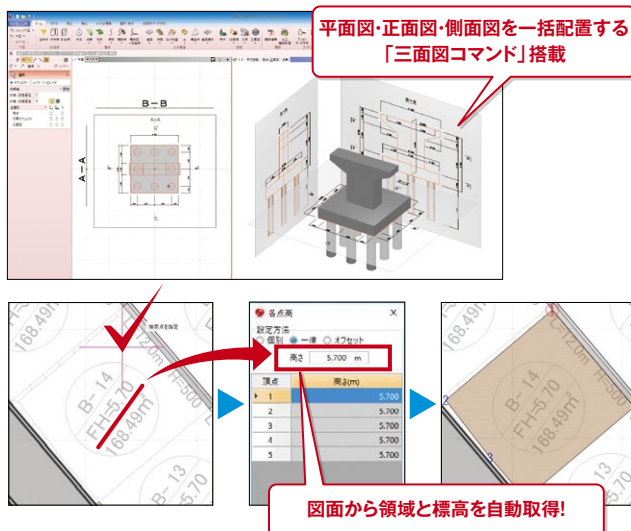
● 発注図を利用したモデリング

発注図を取り込み、下図として3Dモデル作成に利用することができます。平面図だけでなく、横断面も下図として、モデルの入力編集に利用することが可能です。横断面から形状をマウス指定することで、自動的に線形に沿って道路や側溝、法面などが配置できます。



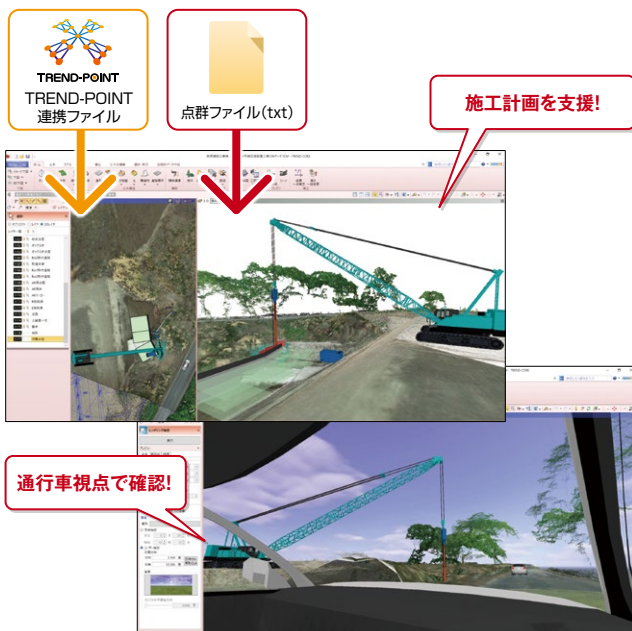
● 3Dモデリングを“手間なく”“簡単に”

平面図・正面図・側面図を一括配置し、立体的な姿勢のまま構造物モデルの作成が可能です。斜面上へのモデル配置も2次元CADの視点・操作感覚で行えます。また、図面に記載された標高(高さ)を文字列から取得など、入力時間の軽減や入力ミスを防ぎ得る機能を搭載しています。



● 現況3Dモデルに点群データを活用

点群データを読み込み、現況3Dモデルとして活用することができます。現況地形のモデリングが不要となるだけでなく、点群データと計画モデルを合成することで、既設構造物や仮設・重機との干渉、施工上の危険ポイントなどが把握でき、施工計画の高度化を支援します。また、点群データをスナップしてのモデル入力や計測も可能で、計測結果に基づいた3Dモデルの構築が、より正確かつ効率的に行えます。



● 任意断面での確認機能

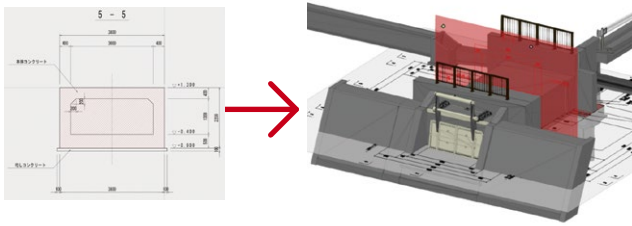
簡易断面でモデルをスライスした横断表現を見ながら、現況と法面の摺り合わせを確認・編集できます。埋設物などの位置も確認することができます。作成した3Dモデルは任意の位置・範囲で切り出すことができ、モデル断面に寸法線・引出し線を追加することができます。既存の図面と3Dモデルの照査に活用できます。作成した3Dモデルは、データ共有クラウドサービス【CIMPHONY Plus】にアップロードし、ブラウザから閲覧、ダウンロードすることができます。



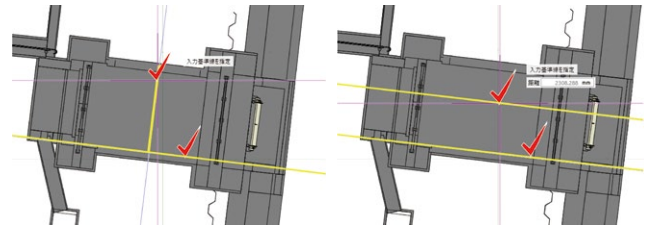
3Dモデル活用

● 2D図面と3Dモデルの整合確認

3次元モデル成果物作成要領(案)に則り別々に納品された「3Dモデル」と「2次元図面」をそれぞれ読み込み、モデルと図面を重ねた照査を手軽に行えます。読み込んだ各データを正しく重ね合わせて配置する”補助機能”を追加し、3DA(アノテーション)モデルの作成の手軽化を実現します。『三面図リスト - 図面設定』から、設計照査や照査結果を画像・図面として出力が可能です。



▲「断面位置指定」コマンドにより断面図を簡単・正確に配置!



▲角度のついた3Dモデルの垂直・平行断面抽出もクリック操作で簡単作成!

データ提供: カナツ技建工業株式会社(島根県)

施工計画の効率化・高度化

● 土シミュレーション

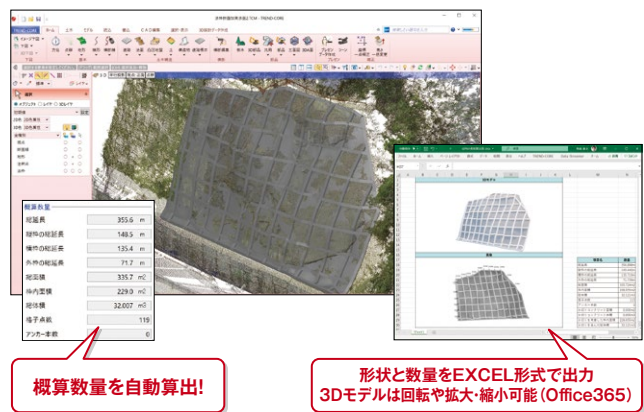
線形と標準断面から道路形状の土工3Dモデルを一括作成し、仮設道路などの施工効率化や安全性を勘案した最適ルートの検討が行えます。現況地形への切土・盛土形状をリアルタイムに生成し、土量を平均断面法にて自動算出できるため、適切な土量配分計画が可能。また、生成された3Dモデルは、EX-TREND武蔵への連携が可能で、従来の2D図面の作成が行え、発注者との協議資料に用いることができます。



● 法枠計画支援

オプション

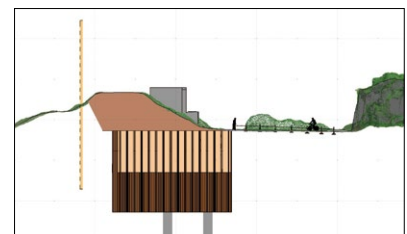
ドローンやレーザースキャナーで取得した点群の現況地形に沿って、設計条件から法枠の配置計画と3Dモデルを自動生成。扇形状など複雑な地形も考慮した法枠の施工計画を立てることができ、大幅な効率化が見込めます。また、枠内工種の設定による材料毎の数量算出(施工金額)や、生成された3Dモデルから面積や延長、コンクリート体積等の数量算出が行え、Excelファイルで成果を出力できます。



データ提供: カナツ技建工業株式会社(島根県)

● 用地境界確認

用地境界など、施工を行う用地の範囲を視覚的に表示します。IFCデータにもサーフェスデータとして出力が可能です。



現場シミュレーション

●豊富な土木専用部品

バックホウ・ダンプトラックの一般的な重機や足場等の仮設材から、フィニッシャー・杭打ち機・台船等の特殊な重機までも含めて、今すぐ使える土木施工専用の3D部品(約2,500点)を標準搭載しています。



可動部品多数搭載!

●重機可動範囲や危険箇所を“見える化”

配置した重機モデルの性能に沿った可動範囲を鳥かごのような表現で“見える化”。重機の配置計画に利用できます。また、電柱や電線・架線からの安全離隔距離も容易にモデル化できるため、視覚的に危険箇所の把握ができ、施工計画検討や安全管理に役立ちます。



可動範囲が見える!

●走行シミュレーション

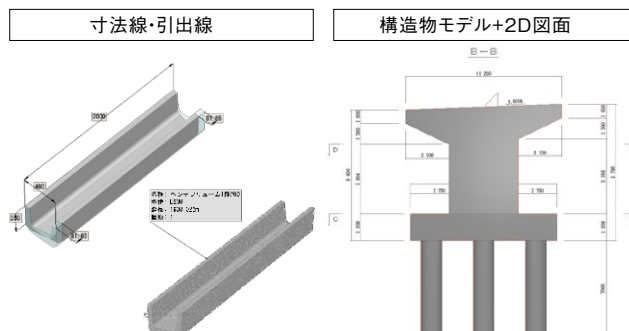
車両や重機等の動線・経路を設定することで、走行イメージをアニメーションで確認できます。



アニメーションで確認!

●3Dモデルへの寸法表記

3Dモデルに寸法線や引出線、計測値、注釈点を配置・表現することができ、施工指示書や協議資料などで利用することができます。



●施工手順や進捗状況を“見える化”

施工ステップ毎にモデル化した施工場面を再現する「4D施工ステップ作成機能」で、施工手順や変更案の比較、進捗状況等を“見える化”します。発注者との設計協議では、表現力の向上と協議時間の短縮が図られるほか、地元住民説明会においては臨場感のある分かりやすい説明が可能となります。モデルに付与した「工程」「試験結果」「担当者」など、様々な属性情報を使った多彩な表現で、施工計画の検討・共有を支援します。作成したデータは、ビューアファイルや動画ファイルに出力することで、誰でも確認することができます。



高品質なレンダリングイメージや動画も作成可能!

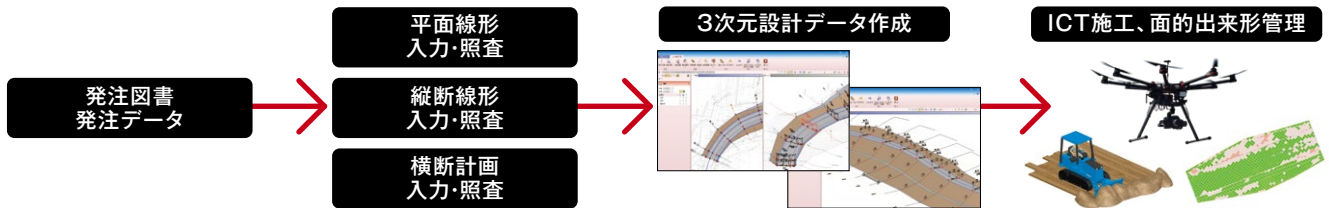
シーン名称や状況説明文を追加して動画出力

ICT 施工

● 3次元設計データ作成

オプション

ICT施工や計画土量算出、面的出来形管理など、“i-Construction”で利用する3次元設計データの作成が行えます。発注図書（平面図及び縦横断面図）をもとにデータ入力を行い、数値入力情報を比較する設計照査にも対応しています。



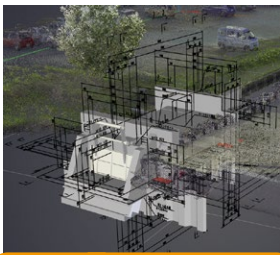
● ICT 構造物工への対応

福井コンピュータソリューション間の連携によりデータを簡単迅速に入出力し、施工業者の業務効率化を支援。ICT構造物工に向けて施工用データや出来形管理のために3Dモデルを有効活用します。

TREND-POINT 連携

設計面・モデルと施工後点群の比較による出来形評価のため、3Dモデルに加えて三面図を【TREND-POINT連携】します。

- 設計面と点群を比較
- 施工後点群を計測し三面図の寸法値と目視で比較



3Dモデル 施工後点群と比較

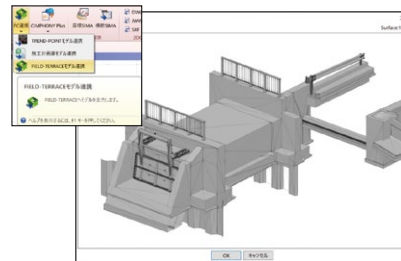


三面図 施工後点群を計測

FIELD-TERRACE 連携

3Dモデル(TIN) + 線形データを簡単操作で【FIELD-TERRACE連携】します。

- ICT構造物の座標差を確認
- 構造物モデルの施工への活用



TREND-CORE



FIELD-TERRACE

データ提供: カナツ技建工業株式会社(島根県)

属性管理 / 情報共有

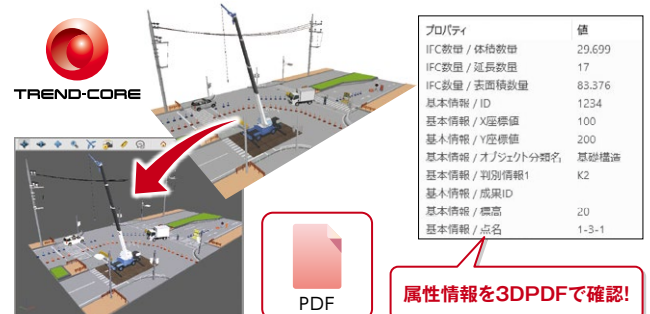
● 施工段階での情報を一元管理

施工段階で作成された図面・書類・写真といったファイルや、URLをリンク登録できるため、3Dモデルをベースにした工事成果品の一元管理が可能です。情報の検索もスピーディーに行え、検査時の説明もスムーズに行えます。さらに3Dモデルに属性を付加することで、施工DBに蓄積され、MDB形式で出力可能です。Microsoft Officeをはじめとした各種システムでの利用が可能のため、維持管理情報として利用できます。



● 3DPDF出力

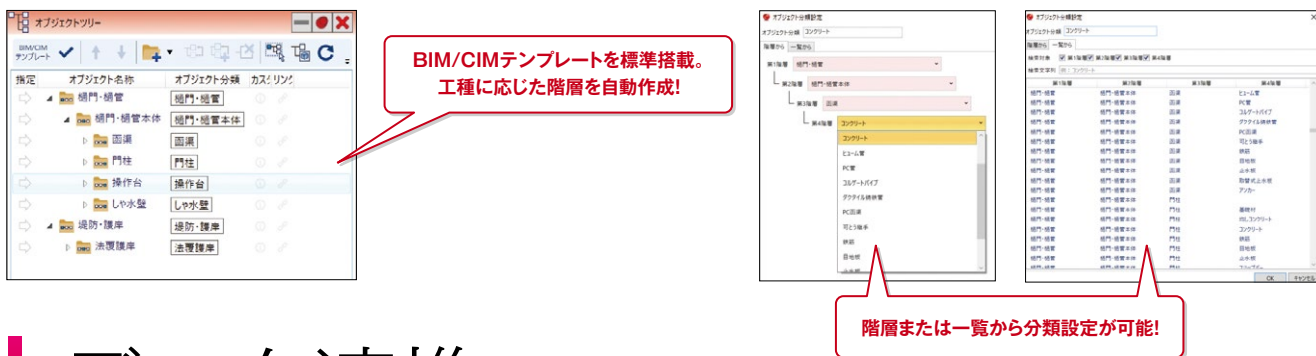
3Dモデルを3DPDFで出力することが可能です。汎用ファイル形式であるPDFに出力することで、3Dモデルを利用した情報共有や意思疎通が、より簡単・便利に行えます。3DPDFでは、作成時に入力した規格値や体積といった属性情報も確認できます。



BIM/CIM業務の成果作成

● 3次元モデル成果物作成要領(案)に準拠したBIM/CIM成果の作成支援

3次元モデル成果物作成要領(案)に記載のある「階層化したオブジェクト分類」を作成できます。この要領はBIM/CIM業務における納品成果の仕様を定めており、BIM/CIM業務において対応が必要になります。【TREND-CORE】では、オブジェクトツリーにおいてオブジェクト分類を設定、確認することができます。階層化により、属性情報付与やオブジェクト抽出、数量確認の効率化に繋がります。



データ連携

● 施工履歴連携

オプション

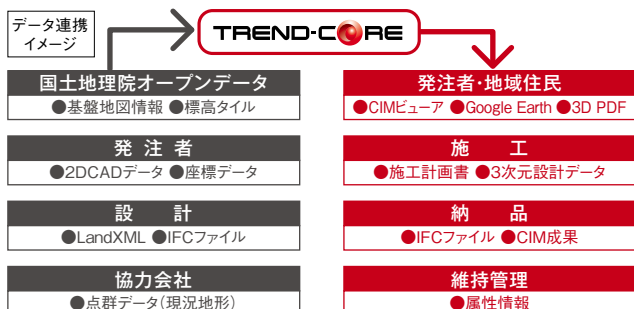
転圧管理システムからとの連携により、ICT活用工事の敷き均し、及び締め固め管理において、ブルドーザーや転圧ローラーのセンサーから出力される情報を3次元化します。転圧回数やまき出し層などの属性情報を、3Dモデルの絞り込みや色分けなどにより「見える化」し、施工状況の把握や不良原因の特定と分析に活用ができます。



※株式会社アカサカテック、ライカジオシステムズ株式会社(旧ジオサーフ)の転圧管理システムと連携が可能です。他社システムにおいても、取込みデータを任意選択することで読み込みが可能です。(2023年1月現在)

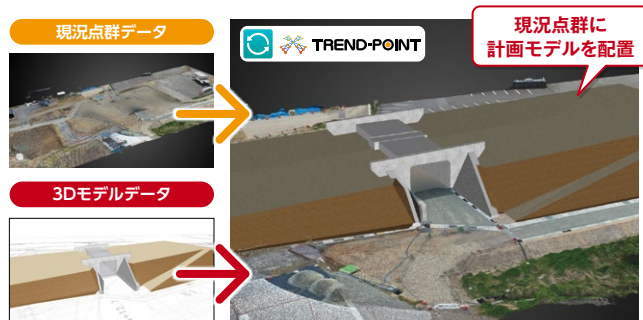
● 3Dモデル作成～施工・維持管理まで、各種データを活用

発注者や協力会社などから入手・提供される各種データを活用し、効率的な3Dモデル作成が行えます。また、作成した3Dモデルは様々なファイル形式で出力できるため、施工～維持管理での活用が可能です。



● TREND-POINT連携

【TREND-CORE】で計画したモデルを【TREND-POINT】で作成した現況点群に配置することが可能です。【TREND-POINT】と連携させることで、設計段階や工事着手前における問題点の確認や、完成イメージの把握が大規模で高密度な点群データを用いて行えるようになります。



データ提供：市川総業有限公司(長野県)

■ 価格表 / BIM/CIMコミュニケーションシステム【トレンドコア】

プログラム		
商品名	プログラム内容	価格 (税抜)
基本部	4D施工ステップ作成機能、土量シミュレーション機能、3Dモデル高品質レンダリング、施工DB	¥600,000
PDF取込アシスト(オプション)	PDFデータ(図面・表)のCAD取込	¥100,000
3D設計データ作成(オプション)	ICT施工、計画土量算出、面的出来形などi-Constructionに利用する3次元設計データの作成	¥300,000
法枠計画支援(オプション)	法枠のモデリングと体積・面積、格子点数などの数量自動算出	¥300,000
施工履歴連携(オプション)	転圧システムから出力された施工履歴データの取込	¥200,000

●複数台価格はありません。 ●オプションプログラムは、単体では動作しません。 ●ライセンスのご提供は「ネット認証ライセンス」となります。

オンライン教材			
商品名	概要	ページ数/動画数	価格 (税抜)
TREND-CORE 基本編	TREND-COREの基本操作をはじめ、構造物や土工など、いくつかの 패턴の3Dモデル作成方法や、着工から完成までの動画作成方法などの操作を習得できます。	600ページ 60動画	¥100,000
TREND-CORE 応用編	複雑な形状の入力方法や汎用オブジェクトの立体編集、国土地理院地図の活用、法枠や仮設道路の計画、横断面図からの3Dモデル作成など、ステップアップするための操作を習得できます。		
TREND-CORE 3D設計データ作成	2次元図面から3D設計データモデルを作成し、設計照査や設計変更にもなる計画データの更新、現況と設計から土量を算出する操作を習得できます。	200ページ 30動画	¥50,000

●基本編50,000円(税抜)、応用編50,000円(税抜)での単体購入も可能です。 ●ご利用には、FCアカウントの登録、インターネット環境が必要です。 ●タブレット、スマートフォンでも視聴可能です。 ●オンライン教材の視聴期間は、ご購入後から3年間となります。また、この期間中にリリースした最新Verも視聴できます。 ●視聴可能な人数の制限はなく、複数人で同時視聴が可能です。

保守サポートサービス			
サービス内容	プログラム定価 ※税抜価格での合計	価格 / 年・ライセンス (税抜)	
FCM安心パック ●最新版プログラムのご提供 ●フリーダイヤル電話サポート(応対回数24回/年)* ●基本サービス(ライセンスID再発行保証)	91万円～	U120	¥95,000
	～90万円	U90	¥70,000

●2ライセンス目以降は、FCMプログラム保守(U120:¥60,000 U90:¥42,000/年・ライセンス(税抜))でもご契約いただけます。

*安心パックに含まれる「フリーダイヤル電話サポート(応対回数24回/年)」の応対回数が不足する場合には、「TREND-COREオプション電話保守」を追加契約していただけます。(安心パックのご契約のあるお客様が対象となります。「TREND-COREオプション電話保守」のみのご契約はできません) ●TREND-COREオプション電話保守(¥30,000(税抜)):フリーダイヤルによる応対回数18回を追加(追加時に契約中の安心パック契約期間(最長1年間)まで有効な応対回数となります。残回数の持ち越しはありません) ●電話サポート受付時間は9:00～12:00/13:00～17:00までの受付(休業日除く)となります。 ●休業日は、土日祝祭日、当社指定の休日となります。

サポート作業料金表(セットアップ/操作指導/その他料金)				
商品名	コード	内容	単位	価格 (税抜)
セットアップ1(パソコンセットアップ)	ISETUP07	OSインストール・設定・Update/ 弊社ソフトネットワークインストール・設定・Update	1回・台	¥70,000
セットアップ2(周辺機器接続)	ISETUP05	弊社ソフトクライアントインストール・設定・Update/周辺機器設定	1回・台	¥50,000
セットアップ3	ISETUP03	弊社ソフトクライアントインストール・設定・Update	1回・台	¥30,000
操作指導料(3時間)	ISUPPORT10	弊社ソフトの操作説明	1回	¥100,000
外部ファイルデータ入出力確認・変換	IGAIBUCH	当社ソフトオリジナルデータ形式以外のデータ取込確認 (最新バージョンのデータに変換します)	1回	¥20,000～
当社ソフトオリジナルデータ破損修復	—	当社ソフトオリジナルデータの破損修復 (破損内容によりお見積りとなります)	1データ	¥10,000～
プロテクト交換手数料	IPSK-NET	ネット認証(占有、共有、LAN)のプロテクト交換手数料	1回・Ser	¥30,000
プロテクト間の商品ビット移動	IPSI-NET	ネット認証(占有、共有、LAN)のプロテクト間の商品ビット移動	1回・Ser	¥30,000

※操作指導1回につき1枚受講券を発行いたします。受講券は発行日の翌月から12ヶ月間有効です。有効期間中に受講いただけない場合は無効とさせていただきます。

※操作指導の中で、電子納品データや3次元設計データ作成等のデータ作成作業は行いません。 ※訪問には、地域により別途交通費・宿泊費がかかります。事前にお見積りをご提示させていただきます。

※ネットワーク環境構築やメール設定・ウィルスチェック設定は行っていません。 ※「当社ソフトオリジナルデータ破損修復」は、ディスクの破損等に伴うデータファイルの破損には対応できません。

■ 動作環境 (2023年1月最新版動作環境)

対応OS	Windows 11, Windows 10 ともに 64bit
CPU	推奨Core i7(最低Core i5以上) : Intel社製 Celeronでは動作しません。
必要メモリ	推奨1GB(最低4GB以上)
必要HDD容量	推奨2GB(最低1.5GB以上) ※データの大きさにより異なります。
必要解像度	推奨1600×1200(最低1280×1024以上)
VIDEO	DirectX 11.0 対応グラフィックカード ※点群データを扱う場合は、専用GPUメモリを搭載したグラフィックスカード必須
VIDEOメモリ	推奨2GB(最低512MB以上) ※点群データを扱う場合は2GB以上のGPU専用メモリ必須(推奨8GB以上)
その他	Microsoft.NET Framework Ver 4.7.1 一部の機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。

●上記動作環境は、2023年1月時点のものです。 ●Windows11,10のデスクトップ環境における[タブレットモード:ON]での動作は保証外です。 ●動作確認テストは、動作環境で行っております。 ●Windows11,10以外のアップグレードしたOSでの動作は保証外です。 ●仮想マシン上での動作は保証外です。 ●CPUは、Intel社製Coreに限りません。 ●プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。 ●データやLANプロテクト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点(例えば支店や営業所)から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロテクトのライセンスを取得するケースとなります。 ●ヘルプ機能を利用するためにはMicrosoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。

“VR”が土木施工業界の未来を提案します!

TREND-CORE VR

建設バーチャルリアリティシステム【トレンドコア プイアール】

BIM/CIMコミュニケーションシステム「TREND-CORE」で作成した3次元モデルデータを利用し、ヘッドマウントディスプレイを装着することで、まるで工事現場に立っているかのようなバーチャルリアリティ体験を実現します。今までにはない視点で現場を見ることで、安全・品質・工程等の各面での向上が見込まれます。「TREND-CORE VR」が土木施工業界における3次元化の未来を提案します。

TREND-COREの3Dモデルを瞬時にVRに

「TREND-CORE」で作成した3次元モデルデータを利用して「TREND-CORE VR」で閲覧可能な3Dモデルを作成します。新たに専用データを作成する手間がなく、コンテンツ作成が可能です。

点群データをVRで再現し、リアルな仮想現実を体感

点群データをVRで活用することで、周辺状況を再現するためのモデリングが不要となり、手軽にVRが実現できます。現況と計画を位置関係の確認説明や過去の状況を把握・振り返りがバーチャル空間でいつでも再現・確認が可能となります。



データ提供：阿部建設株式会社(北海道)



データ提供：石黒建設株式会社(福井県)

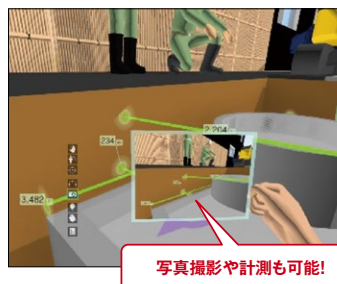
点群でVR体験!

臨場感を演出する アニメーション再生機能

「TREND-CORE」で配置した3D部品(※アニメーション付き)のアニメーション再生機能を搭載し、より臨場感のあるシミュレーションを実現します。



可動範囲をアニメーションで確認!



写真撮影や計測も可能!

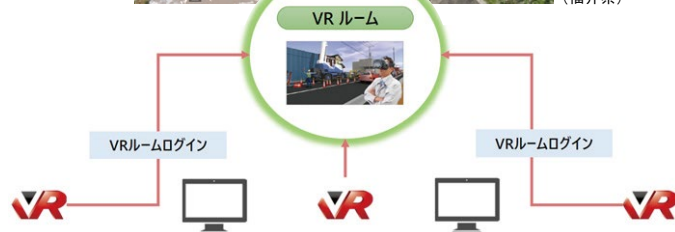
遠隔臨場支援 「VRによる遠隔協議・検討」

データ共有クラウドサービス【CIMPHONY Plus】連携により、VRデータをクラウドへアップロードすることができます。代表者がCIMPHONY Plusからルームを作成し、それぞれがVRルームにログインすることで、複数人による現場状況や計画など遠隔協議・検討が行え、関係者間の合意形成が効率的に行えます。

CIMPHONY Plus



データ提供：
石黒建設株式会社
(福井県)



※VRインターネットコラボレーションの利用には、【CIMPHONY Plus Professional】のご契約が必要です。
※VRインターネットコラボレーションは、プロキシサーバーには未対応です。

圧倒的な没入感!

3次元化による“バーチャルリアリティ”を実現

[TREND-CORE VR]の主な利用シーン

● **プレゼンテーションでの利用**

発注者や協力会社との打ち合わせ、住民説明

● **社員教育での利用**

安全教育や入場者教育

● **検討・シミュレーションでの利用**

施工方法や施工計画

■ 価格表

ソフト価格		
商品名	価格(税抜)	備考
TREND-CORE VR	¥180,000 / 年 ¥60,000 / 月	・付帯サービス 最新版プログラムご提供 常に最新版プログラムをご利用いただけます。(WEBからのダウンロード提供) ・1年単位もしくは1ヶ月単位でのご契約になります。複数年での契約はできません。 ・TREND-CORE最新版を所有する場合にご購入いただけます。 ・ネット認証占有ライセンスでの運用となります。 ・オンライン解説動画付き (VR本体のセットアップから機器の設置方法、TREND-COREとの連携方法やよくあるトラブル対応法を収録)

●TREND-CORE VRデータ作成には、TREND-CORE 最新バージョンのプログラムが必要となります。●VR体験には、上記ソフト以外にVR用ヘッドマウントディスプレイが必要になります。●13歳未満の方は目に及ぼす負担が大きいためVRヘッドセットの利用はお控えください。●VRの利用中は視界が制限されるため、物にぶつかったり転倒などによるケガや事故には十分ご注意ください。

サポート作業料金表(セットアップ)				
商品名	コード	内容	単位	価格(税抜)
Vive機器 セットアップ	ISETUP10	VR機器セットアップ	1回・台	¥100,000
TREND-CORE VR セットアップ	ISETUP03	プログラムのインストール	1回・台	¥30,000

■ 推奨VRヘッドマウントディスプレイ



■ その他 / 対応VRヘッドマウントディスプレイ

- HTC VIVE Cosmos Elite
- HTC VIVE Pro
- HTC VIVE Pro2
- Meta Quest2
- Windows Mixed Reality 対応ヘッドセット

※個々の製品に関する検証、動作を保証するものではありません。
 ※ヘッドマウントディスプレイによりハード要件が異なりますので、各製品の動作要件に応じた環境が必要です。

■ 動作環境 (2023年1月最新版動作環境)

	VIVE FOCUS 3	VIVE Cosmos Elite	Meta Quest2
GPU	推奨 NVIDIA GeForce® GTX1080Ti 以上		
CPU	推奨 Intel Core i7 以上		
RAM	推奨 8GB 以上		
ビデオ出力	VIVE Business ストリーミング(無償)を用いて、独立したWi-Fi 6(Wi-Fi 5以上)のネットワークに接続	DisplayPort 1.2 以上	なし ※Meta Quest AirLinkを用いて、独立したWi-Fi 5以上のネットワークに接続
USB Port	USB 3.0 以上 ×1		USB 3.0 以上 ×1 ※Meta Quest Linkを用いて接続。 ビデオ出力を兼ねる
OS	Windows 11, 10 とともに64bit ※32bit OSでは動作いたしません。		

●CPUは、Intel社製 Coreに限りませぬ。●その他詳細な動作環境については、福井コンピュータ製品サイト(<https://const.fukuicompu.co.jp/products/trendcorevr/program.html>)をご確認ください。

建設業の思いを創る。

INNOVATION for ALL.

社会を支える建設業が、そこに従事するすべての人が、力強く未来へと歩んでいけるように。
福井コンピュータグループは、ICTの技術を活用して想像と革新を積み重ねることで、
より豊かな未来の実現に貢献してまいります。

技術開発センタービル「ウィン・ラボラトリ」

TREND-CORE

BIM/CIMコミュニケーションシステム【トレンドコア】

TREND-CORE VR

福井コンピュータ株式会社

本社 / 〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・
神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

【福井コンピュータグループ総合案内】

 **0570-039-291**

<https://const.fukuicompu.co.jp>

※記載されている社名、商品名は各社の商標または登録商標です。



福井コンピュータは「i-Construction」に対応したソフトウェアを
ご提供することで、建設業界を全面的に支援していきます。



福井コンピュータグループでは、知的財産権の保護を目的とし、ACCS(一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会)による著作権保護・違法コピー撲滅のための活動に参加し、ソフトウェアの著作権問題に積極的に取り組んでおります。詳しくは福井コンピュータホームページ(<https://const.fukuicompu.co.jp>)またはACCSホームページ(<https://www2.accs.jp.or.jp/>)をご覧ください。